

掲 示 板

マッセ OSAKA からのお知らせ

* 12 月 の 研 修 案 内 *

研 修 名	対 象	研 修 実 施 日	申 込 締 切 日
政策マーケティング研修	全職員	12月2日(火)～12月3日(水)	10月23日(木)
エクセル基礎研修5・6	全職員	12月9日(火)～12月12日(金) (各2日間)	10月30日(木)
訴訟問題対応研修	全職員	12月11日(木)～12月12日(金)	10月31日(金)
アクセス基礎研修5・6	全職員	12月16日(火)～12月19日(金) (各2日間)	11月6日(木)

◆研修の申込方法や対象者等詳しい内容については、各市町村の研修担当へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ】マッセ OSAKA 研修課 TEL:06-6920-4567

掲 示 板

* 研修実施報告 ① *

～複式簿記基本研修①～

今回の研修は、今後の公会計改革に備え、複式簿記の基礎知識を習得することを主な目的として、従来の「簿記会計研修」の内容を改め、「複式簿記基本研修①」として、6月5日・6日の2日間、社団法人日本経営協会の内田稔氏を講師にお招きし、実施いたしました。

平成18年8月の総務事務次官通知「地方公共団体における行政改革のさらなる推進のための指針」の中で、人口3万人以上の都市においては、平成20年度決算から、人口3万人未満の都市や町村は、平成22年度決算から財務書類4表の整備又は4表作成に必要な情報の開示に取り組むことなどを要請されていることから、今回の複式簿記基本研修従来の簿記会計研修とは異なり、簿記3級を受けることを主な目的とはせず、できる限り多くの職員の方々に「複式簿記の仕組み」を理解していただくという目的で実施いたしました。

これまでの簿記会計研修（30名定員、8日間）も、大変人気の高い研修でしたが、今回も定員40名のところ、1.7倍にあたる68名の方からお申込みをいただきましたので、講師と相談の上、48名の受講者としました。

今年度は、9月にも同研修（複式簿記基本研修②）を実施する予定です。今回の複式簿記基本研修①では、「これからの役所においても現金主義から発生主義へシフトしていくこと」、「今後は減価償却の考え方が必要」、「財務諸表の作成が必要」などという説明がありましたが、一部の受講生からは、「公会計制度改革の背景と今後のスケジュールの話が聞きたかった」という声もあり、次回から研修のはじめに「公会計改革の流れ」など導入部分の説明を入れる予定です。その他の受講生のアンケートは「複式簿記の重要性を感じた」、「実践に役立つ内容の研修であった」などの意見が多く、複式簿記について、理解を深めていただけたことと思います。



平成20年度 複式簿記基本研修① 日程表

	午 前			午 後				
	9:00	9:45	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:00
1日目	オリエンテーション	1. 会計の種類 2. 企業会計（複式簿記）と官庁会計の違い 3. 複式簿記のしくみ			昼休み	4. 簿記複式の約束事 5. 仕訳 6. 帳簿への転記、記帳		
2日目		7. 試算表と精算表 8. 決算 9. 決算書の見方			昼休み	10. 今後の会計 11. 例題、演習		

講師：① 平成20年6月5日～6月6日（社）日本経営協会講師 内田 稔

（敬称略）

【問い合わせ】 マッセ OSAKA 研修課 TEL:06-6920-4567

掲 示 板

* 研修受講者レポート ① *

～「創造性開発研修」に参加して～

八尾市人権文化ふれあい部自治推進課 松月 章浩

2日間にわたる研修では、マニュアルに頼らず自分の頭で考え抜くことの重要性とそのメソッドについて、学校法人産業能率大学総合研究所研究員の杉崎高広先生より講義を受け、グループで研修を行ないました。

現在私は、4月より新しく設置された「コミュニティ推進スタッフ」として、出張所において勤務しています。全てが初めての試みですので当然、引き継ぎ資料や業務マニュアルといったものはありません。スタッフが頭と体を駆使して、これから地域力をより高めていくにはどういったアプローチや施策が有効か、情報収集・分析・発信していくことが重要です。そういった思いの最中に、マッセ O S A K A で、この研修が実施されることを知り、参加しました。

参加しての感想ですが、まず自分の思考の傾向を把握できたのは良かったです。早合点の傾向が強いといったことに対しては思い当たる節ばかりで恥ずかしいやら、情けないやら…。ただ、それに対しての原因と対策についても、客観的に指導していただきましたので、今後は出来るだけ同じような失敗は繰り返さないようにしたいと考えております。

また、理論に加えて具体的な問題発見・課題解決法を教えてくださいました。ブレーンストーミング・K J法は何度かしたことはあるのですが、「ロジックツリー」、「リッチピクチャー」などは初めての体験でした。また現場に帰ったときのワーキング等で活用を図ってみようと思います。

最後に、大切なことは一過性で終わらせないことです。「継続は力なり」、「千里の道も一歩から」といいますように、この研修で得た

知識を地道に活用し続けていくことが創造力の涵養に欠かせないものと改めて知ることができました。

このような経験ができましたのも、時代の流れを読み自治体職員が求める研修を、日々創意工夫しながら探求しているマッセ O S A K A のスタッフの皆さんのご尽力のおかげであると感謝するとともに、今後もますます前例に囚われない面白い研修を企画してくださることを期待しております。



【問い合わせ】 マッセ O S A K A 研修課 TEL:06-6920-4567